

自由民主党
京都市会
議員団ニュース

平成25年(2013)11月10日発行

■発行人/繁 隆夫 ■編集長/山本恵一、棕田隆知
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.43

平成26年度 予算・市政方針で要望

門川市長に提出した要望の要点は次の通りです。

京都市財政は、一般会計、公営企業会計ともに改

真の財政課題解決を

自由民主党京都市議員団は、10月28日平成25年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望を門川市長に提出しました。要望は前文と常任委員会別140項目(重複項目あり)と行政区別82項目からなっています。

厳しく見直し 力強い京都に

善し、黒字幅の拡大など財政健全化に向かいつつあります。地下鉄事業は、現金収支で黒字が増加し、市バス事業も計画より3年前倒しで経営健全化団体から脱却することができました。市債残高も全会計で302億円改善し、残高は、1兆8785億円となりました。また国の経済政策による景気回復の兆しもあり、今後次第ですが、市税収入増が見込まれます。しかしながら、本質的な財政課題が解決されている訳ではなく、26年度の収支見通しでも206億円もの

財源不足が見込まれ、更に臨時財政対策債も増加を続け、財政基盤の脆弱な京都市としては、今後も厳しい見直しが必要であります。しかし、このような状況下でも未来志向の政策や今後の京都を発展させるための予算編成が大変重要であり、こうした観点からも、自民党市議団は、市会最大会派として、最も多くの市民から信託を受けた市民

の代表として、様々な要素を盛り込んだ上で、力強い京都、未来に羽ばたく京都を創るため、平成26年度予算及び今後の市政方針に対し、強く要望いたします。

各常任委員会

▼経済総務委員会

「双京構想」「国家戦略としての京都創生」など都市格の向上、伝統産業や観光の振興、「はばたけ未来へ!京プラン」の着実な推進と市政改革、服務及び業務監察の取組の徹底と責任の明確化、災害時の諸対策などについて36項目。

▼くらし環境委員会

環境・エネルギー問題、ごみ減量対策、文化財・文化的遺産の有効活用、スポーツ施設、地域コミュニティ活性化と安心安全問題などで22項目。

▼教育福祉委員会

高齢者と子育て支援、生活保護費、敬老乗車証制度、「京都市身体障害者リハビリセンター」、児童福祉センター、JR西大路駅への駅アクセス道路の安全対策、特に朝の通勤・通学において、歩行者と自転車

▼南区

が交錯し、危険な状況にある、事故防止の対応を早急に行うことなど4項目。

▼右京区

世界の歴史文化遺産等の歴史的街並みを残すべき地区の無電柱化を更に積極的に推進することなど5項目。

▼西京区

市立芸術大学の移転は、これまで地域で

安心安全と活性化

行政区別

▼北区 西賀茂車庫以北への市バス路線の延長について、新しい路線が提案されている。早期の実現を図ることなど10項目。

▼上京区 京都御苑周辺の都市格を高めるよう、御苑北側及び西側歩道の安全対策の整備を引き続き推進する一など6項目。

▼左京区

洛北山間部一帯の生活を踏まえて、花背峠トンネル化の早急な計画と実現一など9項目。

▼中京区

木屋町通(三条〜四条間)周辺の放置自転車等をなくすため、新たな駐輪場設置を一など6項目。

▼東山区

住民や観光客の通行、車椅子の通行に困

▼山科区

山科区内への観光誘致策を含む地下鉄東西線の旅客増対策を図ることなど5項目。

▼下京区

京都市立芸術大学の下京区への移転についても、京都駅周辺、更に区全体の活性化に資するよう取り組むこと一など13項目。



門川市長に26年度予算で要望書を渡す自民党議員団

▼伏見区 台風18号の大雨の影響で、下鳥羽付近の堤防から鴨川の水が越流し、多くの住宅に浸水被害をもたらせた。早急に堤防嵩上げを行うこと一など10項目。

不祥事は根絶のはずが...

問題点を徹底検証

所属長の指導力は向上

小林正明議員 (北区)

小林正明議員 (質問) 職員の不祥事が真剣に議論され、私も財政総務委員会の副委員長として、同和地域の「選考採用」等について質問したのが平成18年。その後につくられた「信頼回復と再生のための抜本改革大綱」が機能し、不祥事は根絶されたかに思われましたが、今年に入り職員による不祥事が続いています。業務効率化や職員数の適正化といった行財政改革の中

で、全庁的によろしく平成18年当時に問題視された「所属長の空回り」は改善してこられたのか。また、市長指示後すぐに不祥事が起こる事態について、何が問題か、お答えください。

門川大作 市長(答弁)

現在、第一線の現場では所属長が見事に指導力を発揮し、市民の方々から高い評価を得るようになってまいりました。また、先の台風被害での現場職員の行動を見て、「職務への誇りと使命感を持った職員が育っている」と実感いたしました。一部の職員による不祥



建築用材「北山丸太」として生産される北山杉

事が続いたことは、慙愧に堪えません。小林議員御指摘のとおり、職場ごとの危機管理意識に温度差が生じていることがその一因であります。今回、全庁的な監察体制の強化を図るとともに、これまでの取組が形骸化していないか徹底的に点検し、緊張感が職場の隅々に行き渡るように取り組んでまいります。

代表質問

9月 10月1日 定例市会

小林正明議員の質問項目

- ・平成24年度決算の総括と今後の財政運営
- ・不祥事根絶と技能労務職員の採用
- ・森林整備
- ・北山3学区 (要望)

健全な森林保全 林業の活性化へ

小林正明議員 (質問) 京都

市の林業を取り巻く環境は、リーマンショック後の住宅着工数の減少等による木材需要の低迷、人件費や資材費等の

生産コストの上昇など、非常に厳しい状況にあります。災害に強い、健全な森林を保全していくためには、低迷の続く林業を活性化し、健全な林業経営を通じた適切な森林整備が継続的に行う必要がありますが、市長のご所見をお伺いします。

塚本稔副市長 (答弁) 災害に強く、健全な森林を保全していくためには、生産から販売に至る総合的な林業の活性化が重要となります。そこで、本市では「木材の需要拡大」として、本市の公共建築物等

に木材を利用するための基本方針を策定し、「生産体制の効率化」として、林道の開設や大型機械の導入等への助成を行い、「森林の保全対策」として、植林や間伐など援を基に、病害虫対策・獣害対策にも力を入れています。

為にも、家庭用ゴミ袋の有料化財源等を活かした自然エネルギーと断熱効果による「京都版パッシブハウス(エネルギー使用が低い住宅)」を市民の皆様と共に普及させることを提言します。

地域コミュニティ活性化

条例の施行で成果

自主的取り組みに助成

寺田一博議員 (上京区)

寺田一博議員 (質問) ボランティアで地域活動されておられる皆さんの中には地域のトラブルに関する精神的な負担から役員のなり手が不足していると言った現状もお聞

きしますが、解決策の一つとして私が平成22年9月に提言し、昨年4月に施行された条例の中に新たな制度も作られました。今後の取組についてお聞きします。

寺田一博議員の質問項目

- ・これからの地域のあり方
- ・本市のエネルギー政策
- ・京都府との連携
- ・オリンピック開催に合わせた京都のPRとワールドマスターズゲームズ誘致に向けた取組
- ・地元産業の振興政策 (要望)

門川大作市長 (答弁) 地域の毎の課題解決を支援する総合相談窓口「地域コミュニティ

サポートセンター」を設置。また加入促進の自主的取組を支援する助成制度を創設し、初年度33件の取組で新たに463世帯が自治会に加入される成果がありました。

エネルギー政策 ごみ袋財源活用

寺田一博議員 (質問) 現在

実施されている「まちの匠」による耐震リフォーム助成制度と連動させて省エネ工事も同時に行えるような制度設計を急ぐ必要があります。その

府市協調推進で 効率的な行政を

寺田一博議員 (質問) 私は

動物愛護センターに関して京都市と京都府の合同施設を提案しました。これにより建設費用では、約10億円の経費削減につながり、年間経費でも数千万円単位で削減できることが見込まれています。今一度、徹底した調査のうえ、他の施設や制度等の見直しの為にもしっかりと進捗を管理することが必要と考えますがいかがですか。

門川大作市長 (答弁) 今後、①更なる施設の一体化が

できないか②事業を共同で実施できないか③施設間で更に連携強化すべきでないかなど徹底した市民目線で総点検を行い、一層効率的、効果的な行政を推進してまいります。



京都市が発行、児童に配布されたマンガ冊子「地域って...?」(表紙)

臨機応変な対応力が必要

災害などの緊急時

地下鉄の浸水再発防止

吉井あきら議員 (山科区)

吉井あきら議員 (質問) この度の台風18号により被害に遭われた皆様方に対し、心からお見舞い申し上げます。行政として災害緊急時は通常時の対応ではなく、市民目線の臨機応変な対応をしていくことが大切です。また、今回は地下鉄東西線御陵駅浸水により4日間運休となりました。今回の事態の総括と経営

への影響は。

門川大作市長 (答弁) 災害時は臨機応変に対応してまいります。浸水被害の再発防止に向け安祥寺川を管理する京都府とプロジェクトチームを立ち上げ、京阪電鉄と共に周辺地域の河川改修を含め前向きに取り組んでまいります。

山科の今後考え 刑務所跡地活用

吉井あきら議員 (質問) 京都刑務所の敷地活用について、阪神甲子園球場3個分に相当する広大な土地を京都の50年後、100年後に向け、また市内の「最後のフロンティア」として有効活用すべきと考えます。今年、谷垣法務大臣にお時間を頂戴し訴えてまいりました。どうか



御陵駅トンネル内の冠水の状況とポンプによる排出作業

吉井あきら議員の質問項目

- ・台風18号により地下鉄が区間運休した事態の総括と今後の対応
- ・京都刑務所の敷地活用
- ・「ごみ屋敷」対策 (実効性のある権限の付与、庁内横断的なプロジェクトチームの設置と地域と共に取り組む必要性)
- ・「ペット霊園」への規制
- ・若杉学園の今後
- ・教科書採択

前へ進めていただきたいと思います。いますぐいかがですか。

門川大作市長 (答弁) この土地を例えば大学研究機関や文化芸術、スポーツの拠点施設の誘致など、まちの活性化のために利用していくことができれば、地下鉄の増客はもとより、山科、京都市の発展に多大な効果をもたらすものと考えます。吉井議員が谷垣法務大臣に直接要望されたことをお聞きし、その行動力と将来への熱い思いに触れ、私も4月に大臣にお会いし、さらに一歩進めるべく中長期的に検討していただくよう国へ要望してまいります。

ごみ屋敷、ペット霊園の対策を

吉井あきら議員 (質問) 現在、ごみ屋敷問題は法律上、何もできず、解決には地域の熱意に頼らざるを得ない状況です。一方で住民の方は孤独に悩んでおられる方もおられます。また、ペット霊園問題についても、立地等を直接規制する法律がありません。それぞれ問題解決に向け、条例化も視野に入れ、取り組んでいただきたい。門川大作市長 (答弁) ごみ屋敷問題・ペット霊園につきましても、条例化も視野に入れ全庁挙げたプロジェクトチームを立ち上げ、進めてまいります。よろしくお願いいたします。

子育て環境の充実向上!

質と量の確保制度

健やかな育ちの予算を

棕田隆知議員 (南区)

棕田隆知議員 (質問) すべての子どもたちの安らかな育ちと幸せを第一に考え、保育ニーズの多様化や、人材不足による厳しい環境の中、熱意と愛情をもって維持されている保育園の現場を直視し、将来を担う子どもたちのための予算はしっかりと確保されるべきであります。

門川大作市長 (答弁) ニー

棕田隆知議員の質問項目

- ・焼却灰溶融施設整備工事の契約解除とごみ減量
- ・台風18号による水害
- ・民営保育園
- ・バス待ち環境の向上
- ・京都駅南口駅前広場の整備
- ・水カフェの積極的な展開 (要望)

熱意に頼らざるを得ない状況です。一方で住民の方は孤独に悩んでおられる方もおられます。また、ペット霊園問題についても、立地等を直接規制する法律がありません。それぞれ問題解決に向け、条例化も視野に入れ、取り組んでいただきたい。門川大作市長 (答弁) ごみ屋敷問題・ペット霊園につきましても、条例化も視野に入れ全庁挙げたプロジェクトチームを立ち上げ、進めてまいります。よろしくお願いいたします。

制する法律がありません。それぞれ問題解決に向け、条例化も視野に入れ、取り組んでいただきたい。門川大作市長 (答弁) ごみ屋敷問題・ペット霊園につきましても、条例化も視野に入れ全庁挙げたプロジェクトチームを立ち上げ、進めてまいります。よろしくお願いいたします。

屋敷問題・ペット霊園につきましても、条例化も視野に入れ全庁挙げたプロジェクトチームを立ち上げ、進めてまいります。よろしくお願いいたします。

ともしっかりと確保してまいります。

バス待ち環境の向上を目指して

棕田隆知議員 (質問) 京都駅南口駅前広場整備について、歩くことが困難な方のごとも考えた、現時点でのバリアフリーの検討状況を尋ねます。

国道バス停ベンチの全国一律の法律適用について、国に働きかけ本市独自のバス待ち環境の向上を目指すべきです。



市バスは市民や観光客の主要な市内交通機関 (南1号系統) ①と新しく設置された九条大宮バス停のベンチ②

す。

平口愛一郎副市長、西村隆公営企業管理者交通局長 (答弁) バリアフリー化について、歩道の段差解消やエレベーター4機の増設とともに、移動経路に屋根を設置するなど、すべての人が利用しやすい駅前広場といたします。道路占用許可基準の厳格運用のもと、国道事務所にバス待ち環境の改善の必要性を強く要望し、4箇所のベンチの設置が可能となりました。今後、同様の緩和措置を積極的に要望してまいります。

台風被害教訓に 問題点を総点検

棕田隆知議員 (質問) 台風18号の災害を教訓に、河川等、橋梁、道路も含めた総点検による対策、また被災者の生活支援のため、本市独自の制度の活用等、早期復旧を支援することを求めます。

門川大作市長 (答弁) 住居や福祉施設等に対する本市独自の補助制度を創設し、中小企業者等に対する資金の低利融資、浸水、土砂崩れや落橋などの応急対応や、早期に復旧した観光PR事業、文化財、農林業等の復興にもしっかりと取り組み、今回の災害で確認された問題点を克服し、市民生活の安心安全と経済の活力向上を全力で進めてまいります。

皆さんのご意見・ご要望をお寄せください



犬のトレーナー研修をするドイツの“犬の学校”

犬のトレーナー研修をするドイツの“犬の学校”... 犬のトレーナー研修をするドイツの“犬の学校”... 犬のトレーナー研修をするドイツの“犬の学校”...

ドイツ フランス イギリス 3カ国諸都市へ 自民党議員を団長に

市協調で上鳥羽公園内の西側に約1万㎡を利用して、日本一の動物愛護施設を整備致し

京都市は平成26年度中に、「人と動物が共生できる都市・京都」のまちづくりの推進拠点施設となる「京都動物愛護センター（仮称）」を府

自民党京都市議員団は以前から現在の京都市の動物愛護基幹施設である「家庭動物相談所」の狭隘化や老朽化に伴う多くの課題及び本年9月に改正された「動物愛護管理法」に対応する施設整備の必要性を訴えてきました。そこで自民党議員を調査団長とする計8名の京都市会海外行政調査団は、去る7月28日から8月5日まで、「京都動物愛護センター（仮称）」の整備充実と有効活用に向けた調査を行うため、ドイツ・フランス・イギリスの諸施設を訪問し、9月18日に門川市長にハート面の緊急提言を行うなど、施設の管理方法、設備の仕様、ボランティアとの連携など、今後の動物愛護センターの整備や運営方法に大きな示唆に富んだ成果をあげました。

京都動物愛護センター 建設へ海外行政調査団



市会本会議場正面に勢ぞろいの自民党京都市議員団

自民党議員団23議席に

選出行政区順

- 小林 正明 (北区)
山本 恵一 (北区)
中村三之助 (上京区)
寺田 一博 (上京区)
大西 均 (左京区)
桜井 泰広 (左京区)
加藤 盛司 (中京区)
津田 大三 (中京区)
香川佐代子 (中京区)
内海 貴夫 (東山区)
富 きくお (山科区)
吉井あきら (山科区)
下村あきら (下京区)
椋田 隆知 (南区)
島本 京司 (南区)
井上与一郎 (右京区)
山元 あき (右京区)
田中 明秀 (西京区)
西村 義直 (西京区)
高橋泰一朗 (伏見区)
繁 隆夫 (伏見区)
橋村 芳和 (伏見区)
中川 一雄 (伏見区)



香川氏が初当選 中京区補選

参議院選立候補者の辞職に伴う京都市会議員中京区補欠選挙(7月21日投票)で自民党新人の香川佐代子氏が初当選し、市議会勢力は自民党が23人になりました。

Table with 2 columns: Position and Name. Includes 監査委員, 都市計画審議会委員, 人権擁護委員, and 京都府後期高齢者医療広域連合議員.

自民議員の所属委員会

Table showing committee assignments for LDP members. Columns include: 市会改革推進委員会, 常任委員会 (Economic Affairs, Environment, Education/Welfare, Urban Planning, Traffic/Water/Fire), 市会運営委, and 特別委員会 (Budget/Accounting).

*予算決算特別委員会の副委員長欄の○数字は分科会 *市会運営委員会の加藤盛司、吉井あきは理事